

主催 豊橋技術科学大学 IT活用教育センター／社会連携推進センター

第7回 IT活用FD・SDセミナー 大学教育・運営における

生成AI実践セミナー

豊橋技術科学大学 教員・職員のためのハンズオン・レクチャー



2026 7/10(金)

時間 10:30 ~ 17:00

会場 豊橋技術科学大学内

対象 本学教職員

参加費 無料／各部とも自由に参加可能
(通し参加も歓迎)

形式

第1部	10:30 - 12:00	聴講	対象：全教職員（希望者）
第2部	13:00 - 15:00	ハンズオン	対象：教員
第3部	15:30 - 17:00	ハンズオン	対象：職員

ハンズオン参加にはノートPC (Chrome・Googleアカウント) をご持参ください

内容

活用事例紹介 + 教員／職員別ハンズオン

Gemini / Deep Research / NotebookLM / Google Classroom / Gem / Google Formの実践

生成AIは、対話型ツールからAIエージェントへと急速に進化し、大学の教育・研究・運営のすべての領域に活用が広がっています。本セミナーは、1日を午前・午後（前半）、午後（後半）の3部構成で実施します。教員と職員では生成AIに求める活用領域が異なることから、午後はユーザータイプ別に分割し、それぞれに最適化したハンズオン内容を用意しました。午前の活用事例紹介は、教職員どなたでも自由に聴講いただけます。

大学を取り巻く環境変化と生成AIの位置づけ

大学は、教育・研究・運営という3つの柱を持つ複合組織です。2024年以降に普及した生成AIは、当初こそ「ChatGPT等の対話型ツール」という位置づけでしたが、2026年現在、この3つの柱すべてに深く関わるようになりました。

教員にとっては、授業準備・学生指導・研究調査・論文執筆支援が、生成AIを使うか否かで生産性が大きく変わる時代になりました。職員にとっては、議事録作成・行政文書整理・アンケート設計・データ分析など、定型業務の多くが生成AIによって短時間化できるようになりました。

一方で、「使ってみたいが、どこから始めればよいかわからない」「無料アカウントでどこまでできるのか把握できていない」「ハルシネーション(誤情報生成)が心配で踏み込めない」という声も、依然として多く聞かれます。本セミナーは、こうした「最初の一步」を、一日かけて確実に踏み出すための機会として企画しました。

講師 大島 直樹

山口大学 大学院
技術経営研究科 教授

これまで山口県内をはじめ、全国各地で中小企業経営者や自治体職員、教育機関関係者を対象とした生成AIの実践研修を多数実施してきました。「一人のエキスパートよりも、全員がAIをパートナーに」をテーマに、誰もが生成AIを業務や学びに活用できる環境づくりを支援しています。

10:30 第1部 | 活用事例の紹介 対象：全教職員（希望者）

山口大学 / YIC 情報ビジネス専門学校での生成AI活用事例
導入の成功・失敗パターンと質疑応答

12:00 ランチブレイク

13:00 第2部 | 教育・研究のための生成AI活用 対象：教員

Geminiの基本と「教員のための8+1公式」
Deep Researchの活用とレポート加工 / Google Driveとのシームレスな連携
NotebookLM（音声解説・動画解説・スライド生成） / Google Classroom 連携

15:00 ティーブレイク

講師への個別質問・相談も可能です。
第2部の内容に関する質問や、第3部に向けた事前相談を受け付けます。

15:30 第3部 | 大学運営・事務のための生成AI活用 対象：職員

Gemを中心とした業務効率化（議事録作成の自動化を含む）
NotebookLMによる行政文書の整理 / 留学生向け資料の多言語化

17:00 Google Form × NotebookLMの連携（アンケート設計から分析まで）

参加方法

ご参加には事前の申込みが必要です。

URLまたはQRコードよりお手続きください。

<https://forms.gle/onqYGFGLSgbyzypRX9>

申込締切

2026年6月29日13:00



お問い合わせ先：IT活用教育センター / E-mail cite-office@cite.tut.ac.jp